岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　清水川通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	R3-Bor.No.1	調査位置	広島県福山市鞆町後地（本堤中央部）	北緯	34° 22’ 46.2830″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和3年10月 8日～ 令和3年10月14日	東経	133° 22’ 23.7690″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 32.29m	角度	180°（上）90°（下）0°　0°	方向	北 0°　90°東　180°南　270°西
総削孔長	12.00m	地盤勾配	0°（水平）　90°（鉛直）	使用機種	試錐機：YBM製YSO-1型
					エンジン：ヤンマー(株)製TF120VE型　ポンプ：YBM製SP-40型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分
	27.29	5.00		礫混じり砂	褐茶～茶褐						
	26.29	6.00		粘土混じり礫混じり砂	茶褐～暗青灰						
				風化流紋岩	淡青灰～淡褐灰	w5 / w4	h4 / h3	E / D	VI / V	d	DM / DL / DM
	22.79	9.50									
				風化流紋岩	暗青灰～淡緑灰	w3					CL / DH / CL
	20.29	12.00									

コア採取率 ―×― (%)　最大コア長 ―●― cm　RQD ―― [%]

記事

調査地において比較的新しい時期の土石流堆積層。
砂は中砂～粗砂主体。
φ3～40mm程度の角礫～亜角礫を混入する。
GL-0.00～0.60m，砂分少なく，砂礫状。
GL-0.70～1.00m，粗砂優勢。
GL-1.50～1.90m，細粒分を10%程度含む。
GL-1.65～1.80m，礫状化した褐灰の風化玉石を混入。
GL-3.00以深，含水やや多く礫優勢。
GL-3.70m以深、暗青灰で少量の粘土混じる。
GL-3.80m付近，φ30mmの亜円礫混入。
GL-4.70～5.00m，φ2～40mmの亜角礫を多く含む。

調査地において古い時期の土石流堆積層。
砂は中砂～粗砂。部分的に細粒分を多く含む。
礫はφ3～30mm程度の亜角～亜円礫。

DM級の風化流紋岩質凝灰岩。
全体的に砂状を呈し，不均質。
指圧もしくはハンマー軽打で崩れる。
局所的に粘土を挟む。
GL-6.45～6.70m，固結度が高い。
GL-8.60～8.80m，礫状を呈し，固結度が低い。

DH～CL級の流紋岩質凝灰角礫岩状を呈す。
全体的に礫状～岩片状。
不均質で局所的に砂状及び粘土状の箇所を挟む。

孔内水位／測定月日：10/8 無し，10/11 1.25，10/12 2.35，10/14 3.20，3.69

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
19	1.15	19		
	1.45	300		
6	2.15	6		
	2.45	300		
27	3.15	27		
	3.45	300		
30	4.15	30		
	4.45	300		
19	5.15	19		
	5.45	300		
44	6.15	44		
	6.45	300		
50以上	7.10	50	140	
	7.24	140		
50以上	8.15	50	280	
	8.43	280		
50以上	9.10	50	180	
	9.28	180		
50以上	10.05	50	60	
	10.11	60		
50以上	11.05	50	40	
	11.09	40		
50以上	12.05	50	290	
	12.34	290		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
10/8	33	66/ケーシング	シングル/ソフト	0	60	0	W1/0	0
	71		打込み/打込みシュー	0	0			
10/11			ダブル/ハイ	0	100	1	W3/10	10
	34			0	80	1	W3/8	8
10/12			打込み/打込みシュー	0	0	0	W1/0	0
	40		ダブル/ハイ	0	70	2	W3/7	7
10/13			ダブル/ハイ	0	80	2	W3/9	9